

災害時行動マニュアルの策定

昨年12月1日付で、万が一、この地域に大規模災害が発生した場合でも、適切な議員活動を行うことを目的として、災害時行動マニュアルを策定しました。

大規模災害発生時の議員の安否確認方法や初動対応、初期経過後の議会が通常機能を回復するまでの行動などのほか、議会から町の災害対策本部への情報提供などを明示した内容となっています。

災害発生後の円滑な議会活動の難しさは、これまでに被災地の議会対応を調査研究してきたすべての議員が認識しており、今回、行動マニュアルを定めたことで、全議員が共通した行動をとることができようになりました。今後は、本マニュアルに基づく安否確認訓練から開始し、災害下においても住民の期待に応える議会活動が行えるように努めていきます。



ICTプロジェクトチーム発足

結成

令和3年12月10日に第一回議会ICT化プロジェクト会議を開催。タブレット端末などの導入による議会のペーパーレス化と情報共有化、コロナ禍で導入が進んでいるオンライン会議など、情報端末機器を活用した議員活動拡大の可能性も含めて議論を開始しました。

メンバーは正副議長のほか、各会派からの選出議員と無党派の議員で構成。プロジェクトリーダーには甲斐百合子、副リーダーには鈴木一也を選出しました。



▲議会のペーパーレス化を示す行動指針
(P11に全文掲載画像)

目標

本町で昨年2月に「ゼロカーボンシティ宣言」を表明しました。住民・地域・企業・行政・議会が一体となって二酸化炭素排出削減に取り組んでいます。

具体的には、議会で配布される議案書や説明資料、各種計画書の冊子など、年間数万枚におよぶ紙の削減を目的として進めています。

その取り組みの1つとして、近隣市町議会でも採用が進んでいるタブレット端末の導入を検討しています。

課題

議員間や行政との情報共有の方法、出産や育児介護などの理由によるオンラインでの参加などについて、協議を進めていきます。

展望

情報化社会が飛躍的に進行するなかで、武豊町議会が情報化の波に乗り遅れることなく、さまざまな情報を共有し議会活動に活用します。より暮らしやすいまちとなるようにプロジェクト会議で議論していきます。



▲武豊町と町議会共同でゼロカーボンシティ行動指針を発表